

## 柏市地域防災計画(案)に 関わるパブリックコメント

名前 武田 明 (たけだ あきら)

住所 千葉県柏市西原 7-5-2

2019年に 避難訓練についての ふるさと協議会経由で 柏市西原町会へアンケートがあり その時 回答したものです。

パブリックコメントで 呼びかけている 訓練の部分を 現在のような訓練から 実際の 避難場所を 想定して 訓練するように 内容を変えないといけないのではないかと思います。P.40-41に 書かれている内容を ふるさと協議会単位で 提案したような 訓練にバージョンアップする必要があるのではないのでしょうか? パブリックコメントとして お送りしてみます。「」が使われていたため ホームページから 送ることができないため 郵送します。

参考資料として 会員名簿を 同封いたします。

個人情報に対する取り扱いを 各町会・自治会に 設定することを 市として 指示し 町会・自治会に 名簿を作成させないと 柏市が 進めようとする 20の ふるさと協議会を 通じて(1つのふるさと協議会で 15-20の町会・自治会)を まとめていく ということが できなくなると思います。柏市西原町会は 柏市から 柏ビレッジの個人情報の取り扱い方法を ご紹介いただき 12年ぶりに 名簿を作ることができました。この時 名簿屋さんに ノウハウがなくなり なかなか進まないということがありました。ふるさと協議会単位で進めていくなら 名簿を 早く全町会・自治会に 作らないと **柏市地域防災計画(案)**を作っても 実効性のないものになると思います。

116 ページに火災報知器の交換を PR しているが 最近の知見では 通電火災が 60 パーセントを占めているということから 家庭用電源遮断機の PRが必要になる。名簿が 地域防災の 各家庭に配布された 冊子になるように 企画する必要になった。その際 QR コードを 使って ガラケー以後の スマホ時代に合わせた 考え方を する必要があると思います。

「関東で今後 30 年以内に 70%以上の確率で 大地震が発生する」に備えてのアンケートについて

6.町会に対する要望・意見があれば ご記入ください。とありましたので下記に述べます。

1.柏市西原町会は 平成 30 年 6 月に 会員名簿が 全世帯に配布されています。P.111 に 西原町会は 5 つのブロックと 34 の 班に分かれており 2 時避難場所として AB ブロックが 西原小学校。CDE ブロックが 西原中学校と書かれている。また 町会の集金も 2 ヶ月ごとに 避難場所単位で 西原町会ふるさとセンターの集会の時に班長が集金している。

2.P112-113 に 柏市の QR コードが 掲載されており スマホで 情報が取れるようになっている。北海道のように 停電で TV から 情報が取れなくても スマホを通して 情報が取れる。

3.P.63-66

災害時緊急時救急医療情報キット(耳が聞こえない・音が聞こえない・目が見えないなどの障害を持った人を 救急隊の人が 家の中で一番丈夫な冷蔵庫に保管)を K-NET で お医者さんに繋いでもらう仕組みが 毎年 防災の日までに更新される仕組みになっている。

4.P.45-54

西原町会は 自主防災の方々のおかげで 2016 年 12 月 4 日に HUG 2017 年 6 月 6 日 DIG の 自助共助の訓練がされている。

9月に NHK の 朝イチで 今回の 被害想定を受けて 従来の消火器で火を消す訓練でなく 避難場所の運営が公助から共助になってきた時 HUG を机の上でやるのではなく 実際の 小学校や中学校の体育館で 実施する訓練が必要だと放送していました。

① 校庭の扉は 鍵がかかっているのか?かかっていたらどこに行けば鍵があるのか?②一人当たり 横 1 メートル縦 2 メートルが一人分のスペースとし、トイレに行く通路も 作っておかないと 人の間を踏み越えるわけには行かない。また夜は 停電で暗くて見えない。

③ 妊婦さんや インフルエンザにかかっている人は 体育館でなく 教室に 隔離したり 町内の 看護師さんについてもらうなど考えないといけない。④逃げてくる人は 車に高齢者を 乗せてくる人もいるため 顔見知りの同じ地区でまとめていただいた方が良いが 車の中で過ごしたいという人もいるため 避難してきた人の 駐車場も 援助物資のトラックなどの 邪魔にならない場所に 泊めてもらうように 決めておかなければならない。車にいる人は P.57.58にある運動をして 健康を自主管理してもらうようにしないといけない。

⑤ また 外国籍の人も逃げてくるので 体育館の前に 受付を設けて 避難者の記録や 避難場所を 指示しなければならない。洗濯場所やお風呂場を設置することを考えると 避難場所の水のある場所を事前に 掴んで設計しておく必要がある。

朝イチでは 夏の放送で 床が痛いという 感想があったが 冬の板の間を 考えると 寒さを防ぐものや 灯油の暖房機も 必要になるかもしれない。

以上今までの 避難訓練から 具体的に 地域住民と 学校が結びついた訓練が必要になってくるとおもいます、その中から 社会福祉協議会や地域包括支援センターやお医者様との連携など いろいろな問題が見えてくるとおもいます。